

プロ選手のプレーに興奮



真剣勝負!



保育園でダンス教室

プロ野球の「イースタンリーグ公式戦 成田スカイシリーズ千葉ロッテマリナーズ対埼玉西武ライオンズ」が7月28日、ナスパ・スタジアムで行われました。プロ野球選手のプレーを間近で見られるとあって、球場に集まった観客は2,328人。試合は、開始当初からの雨の影響で6回で打ち切られましたが、選手たち一つ一つのプレーに大人も子どもも目を輝かせていました。試合の前日には千葉ロッテマリナーズキャラバン隊による「ダンス&野球教室」が市内の保育園で行われました。マスケットキャラクタのリーunchャンも登場し、園児たちは大喜びでした。

▶ 成田ブランドの構築を目指して③

ご当地グルメ・ロケ誘致で成田をPR

現在、成田ブランド推進プロジェクトチームは、成田空援隊と連携しながら「ご当地グルメ」の開発と、ロケ誘致に取り組んでいます。

近年、各地で注目を集めているご当地グルメ。プロジェクトチームでは、その開発を通じ、主に首都圏に向けて市の魅力をPRすることで、“成田”の認知度向上を目指しています。

ドラマや映画、CMのロケ誘致には平成22年から取り組んでおり、27件の誘致に成功しています。

こうした取り組みを通じて、空港と地域が一体となった新たな成田の魅力を伝えることができるよう、プロジェクトチームは今後も活動を続けます。

※くわしくは企画政策課(☎20-1500)、ロケ誘致についてくわしくは観光プロモーション課(☎20-1540)へ。



“成田の新しいおいしさ”を開発中

こども体験学習セミナー

世にも珍しい昆虫たちにドキドキ



珍しい昆虫の標本に興味津津



チョウが手に止まったよ

魅力的な体験を通じ、子どもたちに学ぶことの楽しさを知ってもらおうと実施されている「こども体験セミナー」。7月23日、その3回目となる「自然体験『昆虫館・蝶の生態観察』」が、成田西陵高校で開催されました。参加した子どもたちは、「昆虫館」に並ぶ標本や、「蝶の生態館」の中を自由に飛び回るチョウを観察。ヘラクレスオオカブトやオオゴマダラなど、普段は目にすることのない昆虫やチョウの姿に目を輝かせ、歓声を上げていました。

成田の地域遺産写真展

未来に残す郷土の魅力



未来に伝えたい“成田の魅力”がいっぱい

文化遺産や自然遺産を未来に伝えていくことを目的に、ユネスコが推進する「未来遺産運動」。その活動の一環として7月18日～23日、「成田の地域遺産写真展」がユアエルム成田店で開催されました。展示されたのは、市内の風景や文化財、祭りなどを撮影した32点の写真。買い物に訪れた家族連れなどが足を止め、展示された作品の数々を興味深げに見つめていました。

2011成田わくわくひろば合同キャンプ

古代人の生活を体験



火起こしの実演。麻綿から煙が出てきたぞ

遊びや学習を通して子どもたちに行動力や協調性を養ってもらおうと市内15の小学校区・地区で行われている「成田わくわくひろば」の参加者が集まり、7月16日・17日に坂田ケ池総合公園で「2011



力を合わせて

成田わくわくひろば合同キャンプ」が行われました。参加したのは小学生親子など159人。16日の午後には、「古代人の生活を体験しよう」という合同プログラムがあり、火起こし、焼きパン作りなどに挑戦しました。摩擦熱で起こした火種を麻綿の中に入れ、息を吹き入れて着火させるという火起こしの作業では、なかなか上手いできない火種づくりに悪戦苦闘。参加者の一人は、「昔の人たちが、こんな大変な思いをしながら火を起こしていたことを知ってびっくりした」と話していました。

ニュースポーツフェスタIN成田

初心者も楽しく



ストーンの間隔は伸びるか

レクリエーションとして気軽にできるスポーツを楽しんでもらおうと7月16日、市体育館で「ニュースポーツフェスタIN成田」が開催されました。参加者が楽しんだのは、ユニカール・ベタンク・バウンドテニスなどの8種目。参加者は、初めて体験する競技に緊張しながらも、ルールを教えられながら楽しんでいました。